



武智 邦典 議員

ボランテティアによる 庁舎外壁の美化

問

庁舎玄関口の柱や足場を組まずにできる1階部分の汚れを、業者委託せず、土曜か日曜もしくは祝日に半日割いて、美化しませんか。

答

総務部長

年末の休日に職員ボランティアにより、国道の空き缶拾い等清掃活動を実施している。

今年も議会終了後の休日に実施を予定している。その際庁舎の美化作業班も呼びかけてみたい。

水道課では高圧洗浄機を購入しているので、こ

れらを利用して、外壁の洗浄についても試みたい。具体的には日程等が決まれば、議員にも協力願いたい。



水洗いした市役所玄関前

市街化調整区域に対する 答弁の検証

問

①他の4市町の考えは。
②伊予市の構え方は。
③職員育成への考えは。
④質問者が実現に向けて本気で取り組むことに対しての行政として認識は。

答

中村市長

①松前町及び砥部町は、適用をしたいとの考えであり、松山市及び東温市については、適用しないとの考えであった。
②年明けにも県担当部局と再度協議を行い、松山広域都市区域として、市街化調整区域の開発方針をどういう方向にするか協議をしたい。

その結果により、メリット、デメリットを検証し、市の方針を決定したい。
③権限移譲を受けるという結論が出れば、移譲年度に合わせ県職員の派遣、市職員の出向、専門員の採用等を行っていききたい。
④市街化調整区域の土地の開発基準の緩和をし、人口増加、農地の資産価値の向上による農業経営の安定化及び農業後継者の育成に寄与する意図であるとの推測をしている。

答

都市整備課長

④開発の緩和が図れ、人口増加及び既存集落の活性化を見込めるとともに、農業後継者の高齢化による耕作放棄地の対策、また農地の資産価値の上昇が見込めることによる農業経営の安定化を図れるという意図であると考えている。

赤坂泉への取水改良事業について

問

①伊予市が認識している慣行水利権と許可水利権の内容と、今後の八倉・宮下等関係団体の在り方
②赤坂泉から上野団地北の長尾谷川に伸びる9号水路と3水源の認識

答

中村市長

①赤坂水利組合は、取水施設が江戸時代の寛政6年に完成し、200年以上の慣行水利権は歴史が

長く大切なものとして、先祖より引き継がれ未来に伝えなければならぬと判断し、慣行を公序良俗に反しない行為ととらえ、水利権の切りかえに応じないと聞き及んでいく。

このたびの地元の方々の水に対する熱い思いを受け、以前にも増して国家の礎の大切な農業を守っていかねばならない。

答

水道課長

②河川の流れや泉の水量変動に直接影響される傾向があり、こうした水系、水脈の恩恵を受けての取水量であると判断している。

その他の質問事項

・議員に対する市長の関与と議会答弁の検証
・「参画と協働」市民ボランティアへの公助